

臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

開催日時	令和元年 6 月 26 日（水） 18:30～18:57
開催場所	茨城県立中央病院 がんセンター大会議室
出席委員名	小島寛、清嶋護之、松村哲也、鈴木美加、野上達也、秋山順子、小林弘明、荒木眞裕、狩野俊幸、大越靖、菅谷明德、多川英久雄、村上りつ子
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p><u>継続試験</u></p> <p>議題① ゼリア新薬工業株式会社の依頼による 「子宮頸癌患者を対象としたZ-100の第Ⅲ相試験」 治験の継続の適否について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題② 中外製薬株式会社の依頼による 「非小細胞肺癌患者を対象としたMPDL3280Aの第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題③ 中外製薬株式会社の依頼による 「非小細胞肺癌患者（扁平上皮癌）を対象としたMPDL3280Aの第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題④ 小野薬品工業株式会社の依頼による 「ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用、院内で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題⑤ 大鵬薬品工業株式会社の依頼による 「高度催吐性抗悪性腫瘍薬（シスプラチン）を投与する患者を対象としたPro-NETUの第Ⅲ相試験」 国内で発生した重篤な副作用、院内で発生した重篤な有害事象、及び緊急の危険を回避するための治験実施計画書からの逸脱について、引き続き治</p>

験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑥
ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による
「未治療の多発性骨髄腫患者を対象とした BMS-901608 の国内第 2 相臨床試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用、院内で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑦
ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による
「elotuzumab の第 II 相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用、院内で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑧
MSD 株式会社の依頼による
「進行性又は転移性食道癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑨
MSD 株式会社の依頼による
「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑩
MSD 株式会社の依頼による
「MK-3475 第 II 相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験に関する変更について審議し

た。

審議結果： 承認

議題⑪ MSD 株式会社の依頼による
「胃癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑫ MSD 株式会社の依頼による
「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用、院内で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑬ 第一三共株式会社の依頼による
「胃癌患者を対象とした DS-8201a の第Ⅱ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑭ 大鵬薬品工業株式会社の依頼による
「TAS-102 の第Ⅱ相試験」
海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑮ フェリング・ファーマ株式会社の依頼による
「A Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subject Active Ulcerative Colitis in Japanese

Subjects 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者に FE 999315 を 8 週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験」
海外で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認